

カリキュラム・マネジメントの実施に向けて



センターのロゴマーク
 教科教育課の清水明指導主事が完成させました。ITTCはIbaraki Teacher Training Center の頭文字を表します。茨城県の地図と文字ITTC（CはITTを囲むように変形してあります）を組み合わせて、センターから全県に情報発信をしていくことを表現しています。



茨城県教育研修センター-教職教育課

1 「カリキュラム」とは・・・ 「教育課程」と比較して

(1) 「教育課程」とは

学校において編成する教育課程とは、学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容を児童（生徒）の心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した学校の教育計画であるといえることができる。

(小学校学習指導要領解説 総則編 平成20年8月 文部科学省)
 (中学校学習指導要領解説 総則編 平成20年9月 文部科学省)

(2) 「カリキュラム」とは

教師の指導と児童生徒の学びにかかわるすべての経験内容



- ・ 学習指導要領などの制度化されたカリキュラム、年間指導計画などの計画されたカリキュラム、授業者の授業での実践である実践されたカリキュラム、学習者が実際に受容し経験したものである経験されたカリキュラムの四つの次元から構成される。
- ・ 学習指導要領、教育課程、指導計画、教師の指導と学習活動等の顕在的なものだけでなく、その学校の校風や教室の雰囲気、教師や児童生徒を取り巻く人間関係、学校建築や学校施設などの物理的な環境等の潜在的なものも含む。

教育課程 < カリキュラム

カリキュラム

教育課程

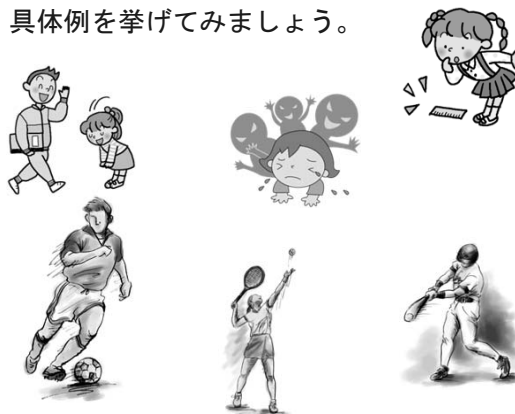
潜在的カリキュラム（隠れたカリキュラム）

学校の顕在的なカリキュラムの中にはない、知識、行動の様式や性向、意識やメンタリティが、意図しないままに教師や仲間の生徒たちから、教えられていくといったものをいう。（隠れたカリキュラム）

教師が意図していないのに子どもたちが学んでいく内容を概念化したもの。

ヒト（人的資源、組織、技術）、モノ（施設設備、資源）、カネ（財源）、情報、時間…etc

具体例を挙げてみましょう。



(具体例)

- ・ 男の子、女の子といった性による社会的な役割演技
- ・ 生徒会の委員会、クラブの部長はいつも男の子、副委員長はいつも女の子…

- ・ 子どもたちに対する呼び方
- ・ 名簿の順番や指名するときの順番
- ・ 学級委員の役割分担
- ・ 男女によって異なる叱り方
- ・ 学校行事やクラブ活動での役割分担などで男女の差
- ・ 教室の雰囲気
- ・ 学習環境
- ・ 教師の行動や言葉、日常の教師の姿
- ・ 学校内での日常の習慣や課外活動
- ・ 校風、風土、伝統、地域性など

2 カリキュラムの改善と カリキュラム・マネジメント

(1)カリキュラムの改善とは

学校の教育目標の実現に向けて、成果の上がっているカリキュラムについては 継続したり一層充実させたりし、課題のあるカリキュラムについては改善していくこと。

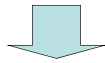
そして、このような取り組みを日常的、計画的、組織的、継続的に行っていくこと。



(2)カリキュラム・マネジメント

カリキュラムを改善していくために、カリキュラムを教育課程、年間指導計画、単元、授業レベルでとらえ、それらをつくり、動かし、変えていくという動的な営みである。

各レベルにおいて成果と課題を明らかにするために、評価が重要である。

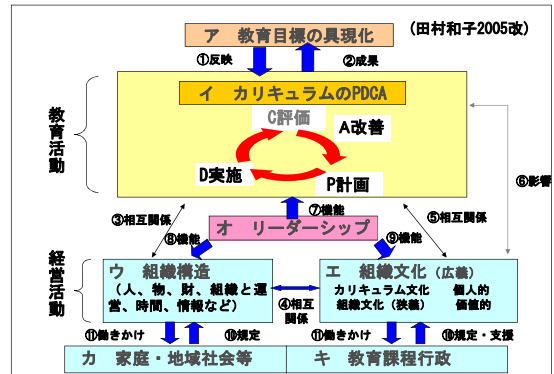


評価を起点とする

「C(評価) → A(改善) → P(編成・計画) → D(実施)」

Cから始まるカリキュラム・マネジメント！

カリキュラムマネジメントのモデル



3 なぜ今カリキュラム・マネジメントを重視しなければならないのか

(1) 自主的・自律的な学校づくりの推進

従来は…

「教育課程の管理運営」とか「教育課程経営」と称され、「学習指導要領の学校への効率的展開・適用」という面に重きが置かれていた。
(トップダウン的発想)



- ・ 学習指導要領における教科等の目標や内容の大綱化及び授業時数の運用の弾力性
- ・ 学校設置基準による自己点検・自己評価の実施と情報の積極的な提供



自主的・自律的な学校づくりの推進
学校の創意工夫
特色ある教育活動・学校づくり

ほぼ計画レベルのカリキュラムに相当する教育課程に対し、児童生徒の成長過程や学んだ内容を含めた用語であるカリキュラムを意図的に用いることにより、教職員一人一人が広い視野からの評価や改善の必要性に気づき、学校生活まで含めて改善する営みが可能になる。

(協働的発想)



(2) 児童・生徒の学びの質の向上

教育課程においては、教える立場にある学校や教師の側の意図が優先され、もう一方の当事者である児童生徒がその教育課程を通して何を学んだのかという視点が弱くなりがちである。



学習者である児童生徒の側に視点を置き、潜在的なカリキュラムまでも包含するカリキュラムという考え方が、児童生徒の学びの質の向上につながる。



(3) 学校におけるカリキュラム・マネジメントのポイント

- ① 「どこの学校にも課題はある」と考えるところからカリマネは始まる。
- ② 学校によって課題は違う。
- ③ 「学校の特色」は課題解決の過程に生まれる。



4 カリキュラム・マネジメントを促進するためのワークショップ（参加型研修）の手法

- ・元来、「職場」、「作業場」、「工房」を意味する言葉
 - ・小グループで意見交換や共同作業を行いながらすすめる参加型学習の技法を組み合わせた、一つの目的をもった研修方法
 - ・「教える・教えられる」という関係で学ぶのではなく、学習者が積極的に他の学習者の意見や発想から学ぶ手法
 - ・すべての人々が、それぞれ異なる知識や経験を持ち、その相互発信を通して学習が進められ、行動変容へ向かう
 - ・そこでの学習は、学習者一人ひとりの変容をもたらすとともに、集団での創造的な活動にもつながるといふ両面性を持っている
- 生涯学習のための 参加型学習のすすめ方 ～「参加」から「参画」へ～
(株)ぎょうせい 2004.6.25

協働性



一枚岩



ワークショップ型の研修方法

- KJ法、短冊法
- マトリックス法
- 概念化シート
- 授業案の拡大シート



概念化シートの例

 児童生徒	プラス 教師
 	マイナス

付箋を使うときのルール

- ① 1つの付箋に1つだけの事実やアイデアを具体的に書く。
- ② 抽象化はしない。具体的に！
- ③ 質より量，たくさん書き出す。
- ④ グルーピングできない付箋の意見も大切にする。



5 ワークショップ型校内研修の進め方の例 (国語科の授業の改善)

テーマ「考えて書くための指導法の在り方」
H20, 11, 20取手市立戸頭西小学校

※ 写真はH21, 潮来市立津知小学校と大子町立だいご小学校を含む

- ① 事前にグループを作っておく。(4~6人)
- ② 各自，付箋紙2色(をそれぞれ10枚以上)持参し，授業を参観して気づいたことをその場で記入する。

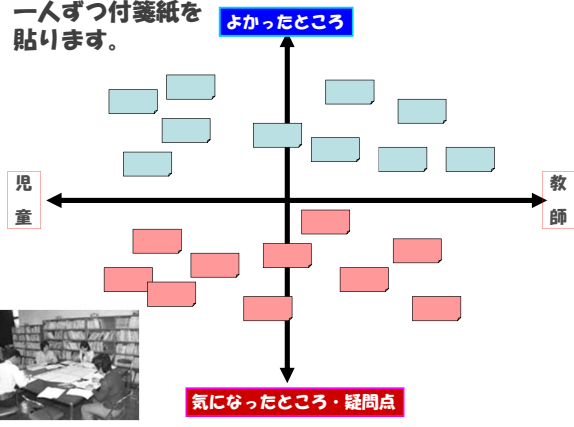


研究協議の進め方

- ① 授業者による授業の振り返り・反省(グループ)
 - ・ 参観者は授業者の振り返りを聞きながら，付箋紙に新たに記入してもよい。
- ② 参観中に記入した付箋紙を指導案の展開の部分からはがし，説明しながら模造紙に貼る。



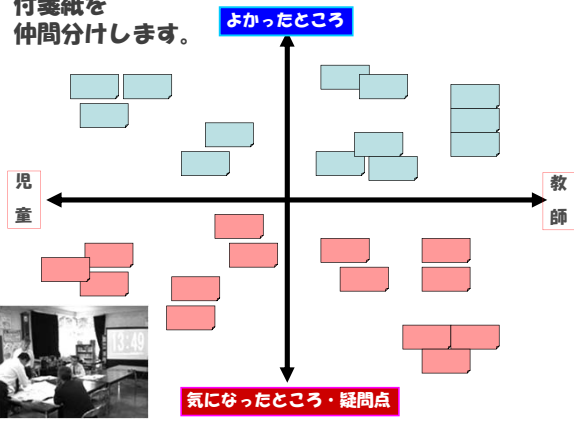
一人ずつ付箋紙を貼ります。

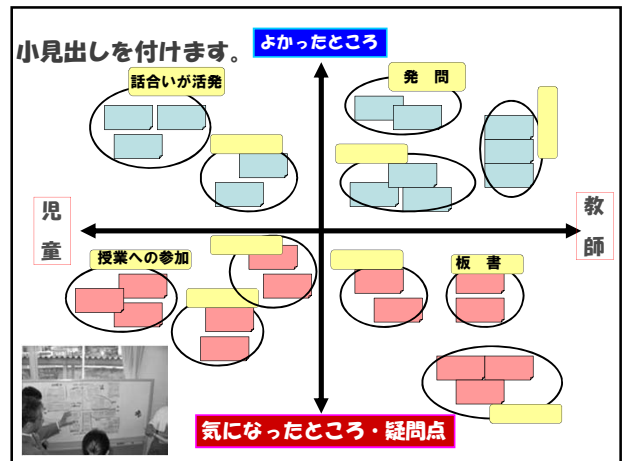
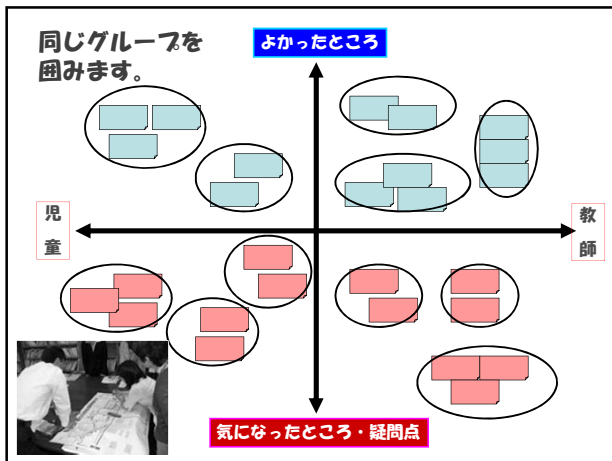


- ③ 貼った付箋紙を見て，同じものや似たものを集めてグループにする。グルーピングしたら，分かりやすくマジックで囲み，そのグループにふさわしいタイトルをつける。



付箋紙を仲間分けします。

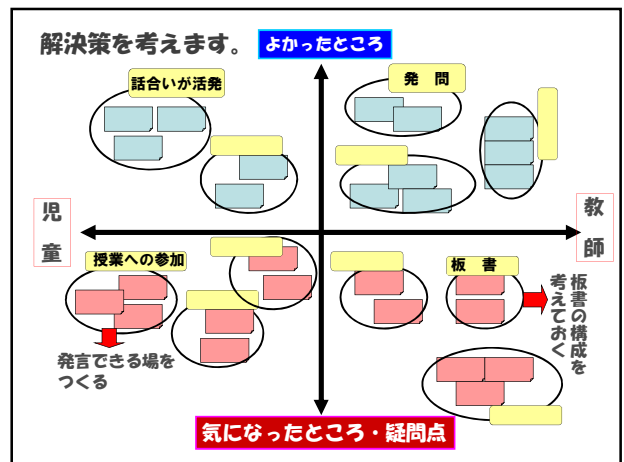




④ 「気になったところ、疑問点、改善すべき部分」について、改善策や今後の指導の在り方についてまとめる。

H20, 11, 20 取手市立戸頭西小学校

H21, 6, 19 潮来市立津知小学校



⑤ 各グループからの発表

※ 発表者は、授業者を除いてグループで1番若い先生にお願いします。これは、若い先生の大切な学びの機会となります。

H20, 11, 20 取手市立戸頭西小学校

H21, 6, 19 潮来市立津知小学校

ワークショップ型校内研修の進め方の例
(国語科の授業の改善)

テーマ
「基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と、問題解決能力を高めるための学習指導の在り方—言語活動の充実と個に応じた指導の工夫を通して—」

平成21年7月15日 小美玉市立小川南中学校

2年生 国語(古典)

全職員で授業参観



全職員での研究協議（ワークショップ）

各グループからの発表

演習（ワークショップ）

テーマ
「隠れたカリキュラムを見つけよう」

5人グループ
 15分：付箋紙を模造紙に貼る（1人3分）
 15分：グルーピング、タイトル（見出し）
 15分：改善策や今後の指導について考える
 15分：グループからの発表（3分×5）

